

## 経済・体育施設に関する調査特別委員会提出資料一覧

(平成29年8月28日開催分)

**資料1** 耐震診断にかかる福岡県とのやりとりについて (いつ行ったのか、誰と会ったのか、どういう話をしたのか、どういった回答があったのか) の資料

**資料2** 久留米市みずま総合体育館に関する資料

**資料3** ここ近年に建てられた (建設中を含む) 総合体育館に関する資料

**資料4** 各候補地の評価の概要

(注意) 上記□で囲っている資料は特別委員会において資料要求があった資料

耐震診断実施までの県建築指導課との協議経過

平成29年3月29日 県より報告命令(平成30年3月31日までに実施報告せよとの内容)が建築課あてに届く

1 協議日時 平成29年6月9日

健幸・スポーツ課担当主査から福岡県建築指導課建築指導係担当へ電話確認

(協議内容) 耐震診断報告命令後の県の措置について

①市が建替えとの判断をしたとしても耐震診断の実施をしないとイケないのか。

②交付金等の財政措置はあるか。

協議結果 (概要)

①報告命令どおり耐震診断の実施を求められる。

②社会資本整備総合交付金がある。

2 協議日時 平成29年6月22日

健幸・スポーツ課担当主査から福岡県建築指導課建築指導係担当へ電話確認

(協議内容) 耐震診断の実施のスケジュールで、年度を超す場合の対処について

協議結果 (概要)

交付金については、年度内実施が原則である。

3 協議日時 平成29年7月19日

協議相手 福岡県建築指導課建築指導係長、同担当

協議場所 福岡県庁6階「建築指導課」

出席者 健幸・スポーツ課長、課長補佐、担当主査

(協議内容) 飯塚第1体育館に対して発出された平成30年3月31日まで耐震診断の報告命令に伴う対応について(市長からの建替え判断に伴う耐震診断の是非についての再確認の指示を受けて)

協議結果 (概要)

対象建築物の建替えの方向性があるなしにかかわらず、平成27年12月31日までに法により耐震診断を義務付けされた建築物を除却、もしくは廃止等をしていなければ、耐震診断を実施したうえで、所管行政庁に報告する義務を

負う。

このことから、飯塚第1体育館は、平成27年12月31日までに耐震診断を実施し、報告する義務を負っていたが、実施していなかったため、平成29年3月29日付けで、平成30年3月31日まで耐震診断の報告命令を発出したものである。

命令どおり耐震診断を実施のうえ、報告をしてほしい。

- |        |                 |
|--------|-----------------|
| 4 協議日時 | 平成29年8月8日       |
| 協議相手   | 福岡県建築指導課建築指導係担当 |
| 協議場所   | 福岡県庁6階「建築指導課」   |
| 出席者    | 健幸・スポーツ課長、担当主査  |

(協議内容) 社会資本整備総合交付金の申請に伴う事前審査の提出

協議結果 (概要)

事前審査の受理

年度内の実施、今後の交付金スケジュール等について指導。



ようこそ！久留米へ！

久留米市イメージキャラクター くるっば

## 久留米市みづま総合体育館視察資料 (抜粋)



平成28年10月14日(金)



## 1. 整備目的

久留米市では、スポーツの振興について方針を定めた「久留米市スポーツ振興基本計画」を策定しており、その計画に基づき、市全域の大会等のみならず県南大会・県大会しいては九州大会・全国大会も開催できる「広域体育館」としての機能、そして三潞地域を中心とする日常の練習活動などに対応する「地区体育館」としての機能を備えた体育館としてみづま総合体育館を建設したものです。

## 2. 整備経過

### ■三潞町

平成 14 年度～	総合体育館等基本計画策定委員会設置
平成 15 年度	基本計画
平成 16 年度	用地取得開始・基本設計 三潞総合体育館建設委員会 設置 ※1市4町合併 (H17.2)

### ■久留米市

平成 17 年度	造成工事
平成 18 年度	実施設計
平成 19 年度～20 年度	建設工事
平成 21 年 4 月	開館
平成 21 年度	東側駐車場工事

## 3. 建設費

	1, 955, 702千円
体育館建設工事	1, 757, 808千円
外構整備工事	79, 064千円
駐車場整備工事	118, 830千円

財源内訳	国庫支出金	428, 064千円
	県支出金	61, 700千円
	地方債	1, 447, 600千円
	その他	3, 810千円
	一般財源	14, 528千円

#### 4. 総合体育館概要

##### I. 開設年月日、所在地

- (1) 開設年月日 平成21年4月11日  
(2) 所在地 〒830-0112  
久留米市三潯町玉満2593番地1

##### II. 施設概要

■構造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）2階建て	
■面積	延床面積：約5,995㎡	
	建築面積：約5,366㎡	
	敷地面積：約11,696㎡	
■1F	事務室 クラブルーム トレーニングルーム（別添マシン一覧表） 子供室 授乳室 倉庫 給湯室 会議室・研修室（兼 軽運動室）	更衣室・シャワールーム 便所 多目的便所 玄関ホール 選手ロビールーム 役員室 選手控室 器具庫（2箇所）
☆メインアリーナ【1,597㎡】*競技エリア 42.5×37.0	⇒[公式競技対応]バレーボール2面（メイン1面）、 バスケットボール2面（メイン1面）、バドミントン8面	
☆サブアリーナ【660㎡】*18.5×35.4	⇒[公式非対応]バレーボール1面、バスケットボール1面、バドミントン4面	
■2F	メインアリーナ観客席【固定席416席、車椅子用ブース8席】 ロビー 便所 ランニングコース（約175m）	
■その他	1F～2Fのエレベーター 屋外階段 空調設備（全館） 太陽光発電（10kw）	
■屋外施設	駐輪場 身障者駐車場（3台） 一般駐車場（80台） 大型車両駐車場（3台）	■東側駐車場（敷地面積 約7,013㎡） 身障者駐車場（5台） 一般駐車場（90台） 大型車両駐車場（16台） （普通車利用時72台）

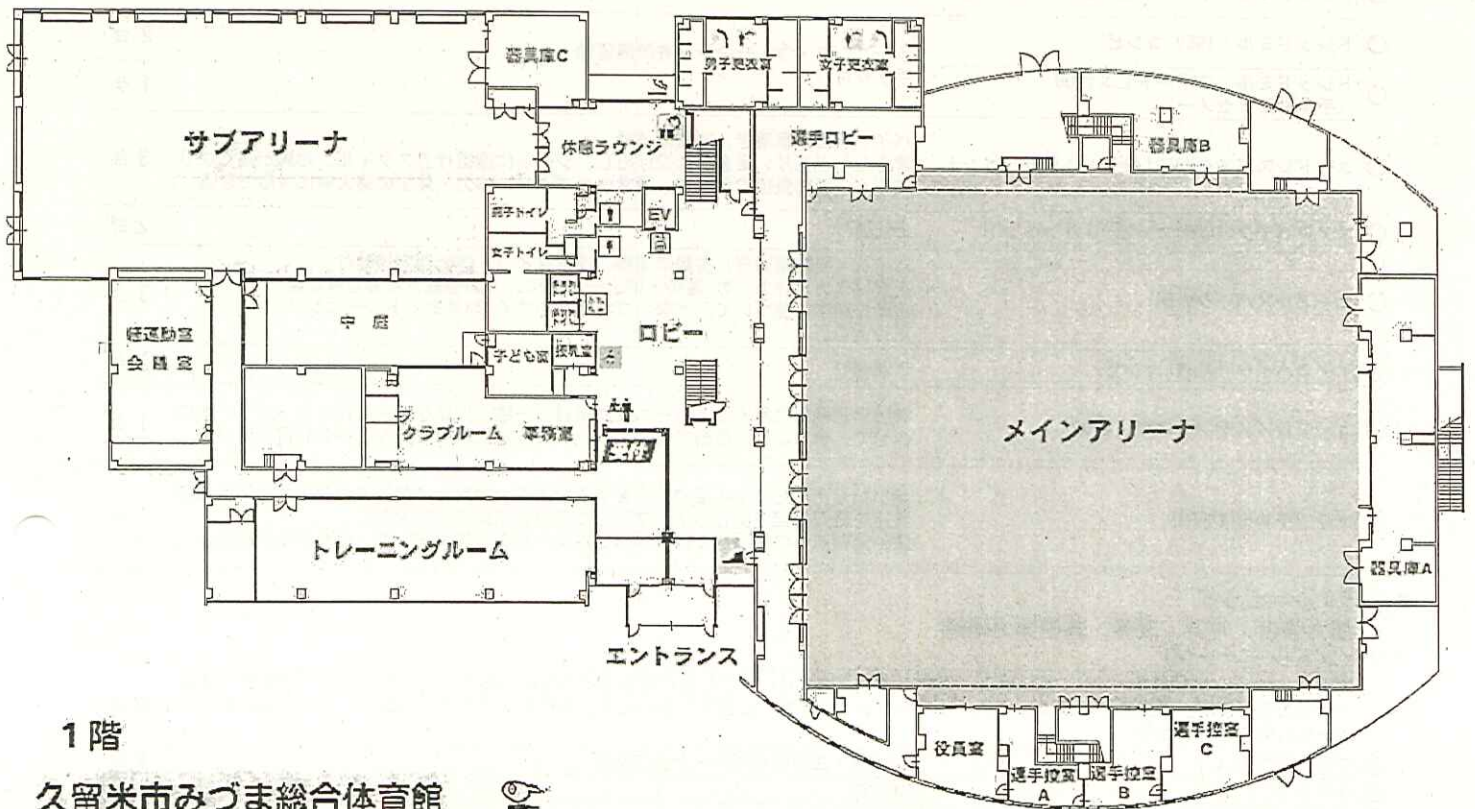
##### III. 開館時間及び休館日

- (1) 開館時間 午前9時から午後9時30分  
(2) 休館日 ②年末年始（12月28日～1月4日）

##### IV. 予約方法

- ① 年間調整会議（毎年2月）・・・大会等の利用調整  
※年間調整会議後の大会の予約は、特別承認申請書により受付  
② 調整会議（毎月25日）・・・一般的な練習等の利用調整  
※調整会議後の予約は、先着順により受付



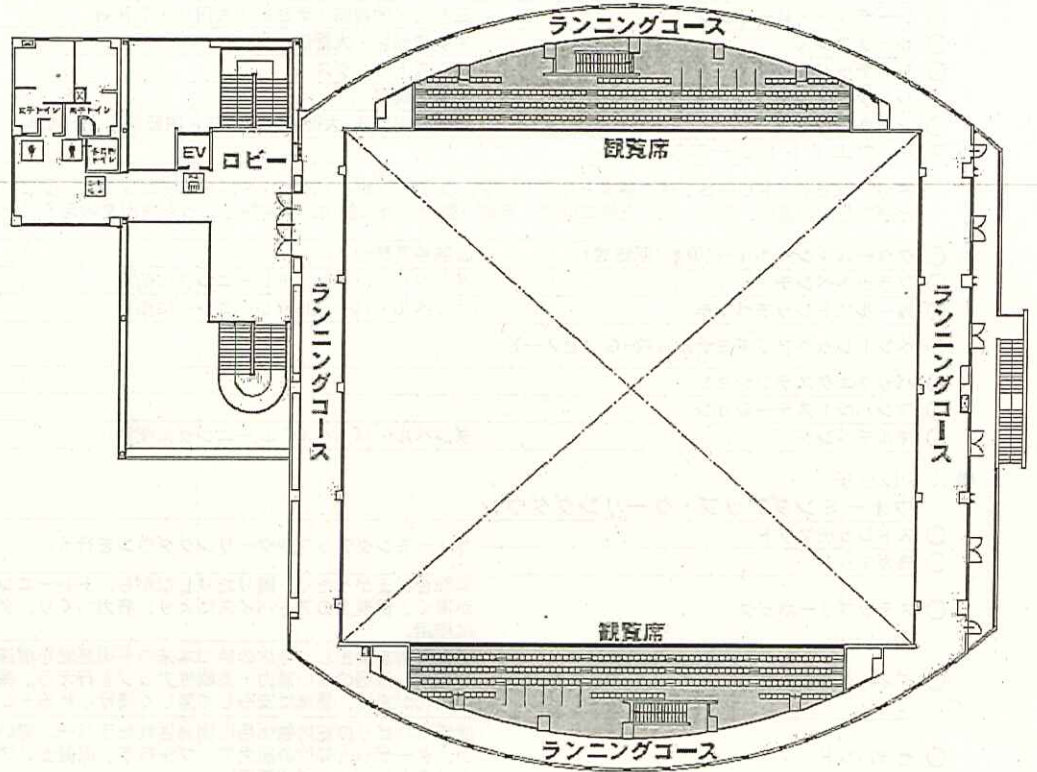


1階

久留米市みづま総合体育館



2階



体育館資料 3

各市の新体育館建設にかかる参考資料(出所:各市HP 基本設計より本市抜粋)

①愛知県江南市…………… 平成30年開館予定

人口(H29.7月末現在)	100,953 人	
地上2階建て	選手控席: 860席	
建築面積	5500.77 m <sup>2</sup>	
延床面積	8205.76 m <sup>2</sup>	
メインアリーナ	49m×38m	バスケットボール2面・バレーボール3面
サブアリーナ	27m×34m	バスケット1面
武道館(既存)	地上3階建て	1F 957.07m <sup>2</sup> 2F 975.67m <sup>2</sup> 3F 951.94m <sup>2</sup>

②茨城県日立市…………… 平成29年1月開館

人口(H29.7月末現在)	181,089 人	
地上2階建て	観覧席: 約1460席	
建築面積	6,698.59 m <sup>2</sup>	
延床面積	8,584.31 m <sup>2</sup>	
メインアリーナ	59m×35m	バスケットボール3面・バレーボール3面
サブアリーナ	725m <sup>2</sup>	バスケットボール1面・バレーボール1面
武道場(多目的室)	約430m <sup>2</sup>	柔道場×2面 剣道場×2面
弓道場	130m <sup>2</sup>	6人立

③青森県むつ市…………… 平成32年供用開始予定

人口(H29.7月末現在)	58,955 人	
地上3階建て	観覧席: 約1000席	
建築面積	6,673.74 m <sup>2</sup>	
延床面積	7,906.82 m <sup>2</sup>	
メインアリーナ	バスケットボール2面	
サブアリーナ	バスケットボール1面	

---

(仮称) 江南市新体育館建設工事 基本設計 【概要版】

---

目次

1	設計趣旨	1
2	計画概要	2,3
3	配置計画	4
4	平面計画	5,6
5	意匠計画	7
6	断面計画	8
7	省エネルギー計画	9
8	ユニバーサルデザイン計画	10
9	災害時対応	11
10	工事工程計画	12

(出所：愛知県江南市HPより 本市抜粋)



(1) 基本設計方針



『誰もが気軽に健康づくりを楽しめるにぎわいと交流のスポーツプラザ』

健康づくりを楽しみ、多世代が交流する『スポーツプラザ』を計画します。

江南市の特徴である藤(ウズテリヤ)をキーワードに、市民に親しまれる新体育館を計画します。大きな藤棚の下にいろいろなスポーツ施設が見通しよく配置される建築により、利用する市民の皆さまがスポーツや健康を通じての交流が創出できる新しいアリーナです。江南市の新たなシンボルとなる体育館にします。

【スポーツプラザの4つの実施方針】

1) 地域のランドマークとなり、市民交流の場となる新しい体育館

「江南」らしさをデザインや材料に取り入れ、生涯スポーツの拠点となる施設とします。

2) 市民利用から本格的な競技大会やスポーツ教室まで対応できる施設

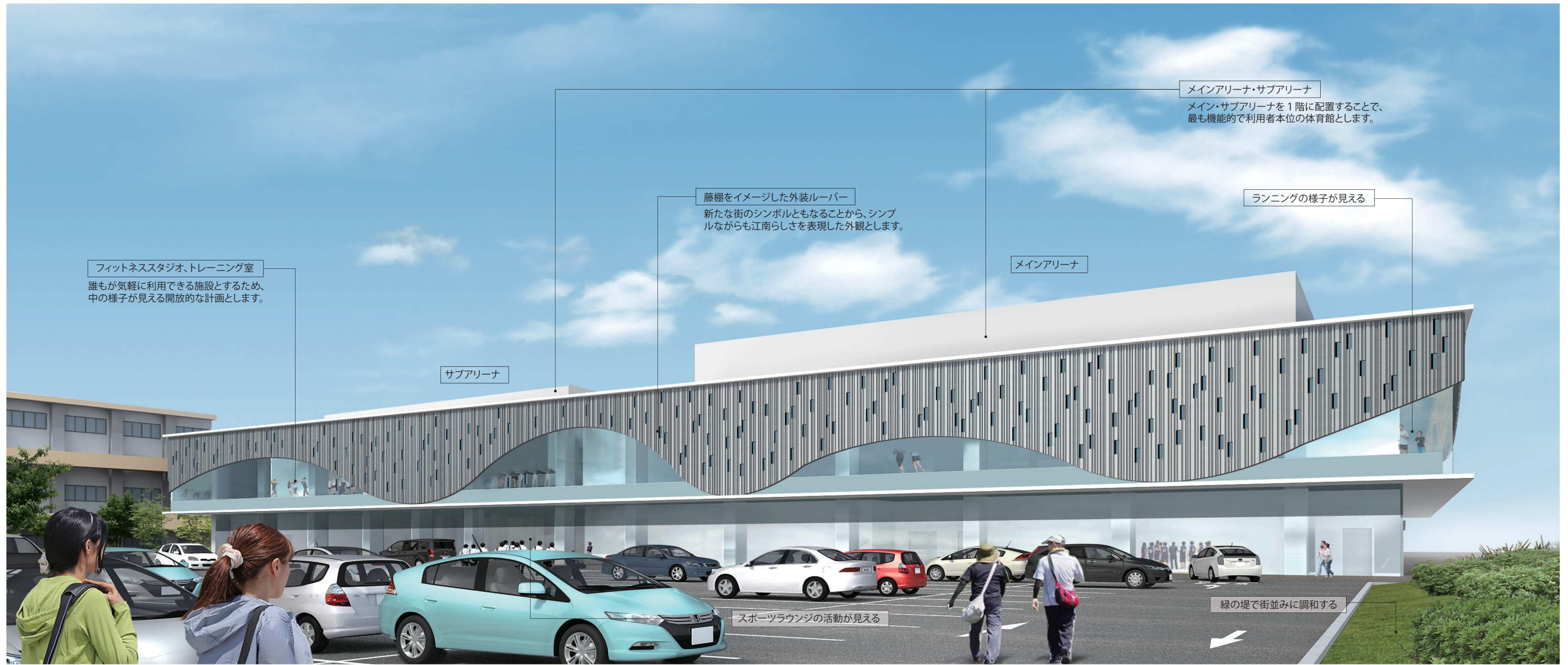
市民の健康維持や各種大会に対応できるように、フレキシブルな空間の提案をします。

3) 地球環境や地域に配慮した施設

季節、天候に応じて風、日射などの自然エネルギーを積極的に利用し、経済的で環境にやさしい施設とします。

4) 防災拠点としても対応できる施設

防災拠点として要求される性能、設備を確保し、災害時の活動拠点となる施設とします。



フィットネススタジオ、トレーニング室  
誰もが気軽に利用できる施設とするため、中の様子が見える開放的な計画とします。

サブアリーナ

藤棚をイメージした外装ルーバー  
新たな街のシンボルともなることから、シンプルながらも江南らしさを表現した外観とします。

メインアリーナ

メインアリーナ・サブアリーナ  
メイン・サブアリーナを1階に配置することで、最も機能的で利用者本位の体育館とします。

ランニングの様子が見える

スポーツラウンジの活動が見える

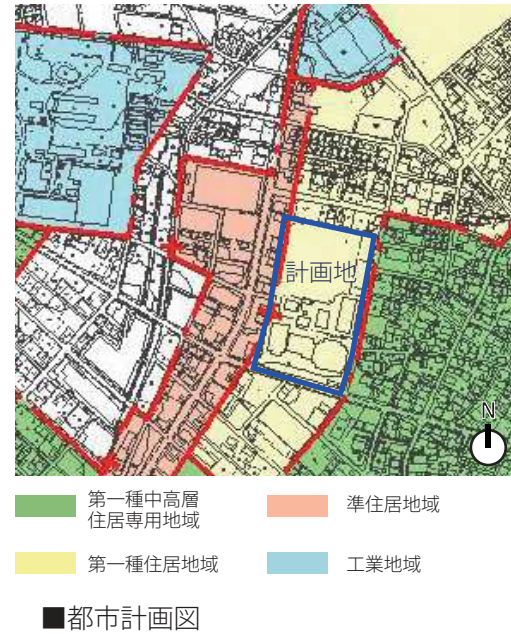
緑の堤で街並みに調和する

■藤棚の様な建物外観イメージ



(1) 敷地概要

計画地	愛知県江南市高屋町清水 118 番地
都市計画地域の内外の別	都市計画区域内 市街化区域
道路幅員	東側： 6.0m
	北側： —
	西側： 6.0m
	南側： 13.6m
用途地域	第一種住居地域
地区計画	高屋B地区
高度地区	指定なし
防火地域	指定なし
敷地面積	33,040.21㎡
法定建ぺい率	60%
法定容積率	200%
日影規制	4m 4時間 / 2.5時間
その他	なし



(2) 建築概要

主要用途	体育館
工事種別	増築
建ぺい率	$6,861.73 / 33,040.21 \times 100 = 20.77\%$
容積率	$11,443.06 / 33,040.21 \times 100 = 34.63\%$

	棟名称	建築面積	延床面積	構造	階数	備考
①	新体育館	5,500.77㎡	8,205.76㎡	RC・SRC造 一部S造	2階	新築
②	駐輪場	30.00㎡	30.00㎡	S造	1階	新築
③	既存武道館	1,132.70㎡	2,884.68㎡	RC造及びPC造併用	3階	改修なし
④	市営グラウンド管理棟	199.03㎡	322.62㎡	RC造	1階	改修なし
	合計	6,861.73㎡	11,443.06㎡			

(3) 各階床面積

①新体育館	2階	2,704.99㎡
	1階	5,500.77㎡
合計 (延床面積)		8,205.76㎡

③既存武道館	3階	957.07㎡
	2階	975.67㎡
	1階	951.94㎡
合計 (延床面積)		2,884.68㎡



■現況配置図



■計画配置図

※上記の面積は「建築基準法」に定められた算定方式により算出しております。

※上記の床面積は、基本設計段階のものであり、今後の変更や協議により変動いたします。

(4) 構造計画概要

1. 主体構造	鉄筋コンクリート造・鉄骨鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造
2. 基礎構造	直接基礎
3. 地盤改良	—

(5) 電気設備計画概要

	新体育館	備考
1. 電力引込	三相3線式 6.6kV	既存武道館・市営グラウンド キュービクルへ高圧分岐
2. 受変電設備	形式：屋外キュービクル方式 変圧器容量：900kVA 油入式トッランナー	
3. 自家発電設備	エンジン形式：ディーゼル発電機 発電機容量：非常用 100kVA 燃料：A重油	
4. 太陽光発電設備	発電容量：20kW	
5. 幹線動力設備	配電方式：ケーブル配線 配電電圧：単相3線式 210/105V(電灯・コンセント) 三相3線式 210V(動力)	
6. 電灯設備	照明器具：LED 照明制御：廊下等 スケジュール制御 トイレ等 人感センサー制御	
7. コンセント設備	事務室：OA電源容量 50VA/㎡ (OAタップ)	事務室・会議室に太陽光発電パネル 直結自立型コンセントを設置
8. 電話設備	受信方式：ダイヤルイン中継台方式	既存武道館へ分岐
9. 放送設備	非常・業務放送兼用型	
10. 音響設備	メインアリーナ、サブアリーナ、会議室、レクリエーション・親子リズム室、フィットネススタジオ	映像設備：会議室、レクリエーション・親子リズム室、フィットネススタジオ
11. 弱電設備	ITV設備・電気時計設備 テレビ共調設備・トイレ呼出設備	
12. 雷保護設備	内部保護：分電盤にSPD設置	
13. 自動火災報知設備	受信機：GP型1級受信機 感知器：アリーナ部は空気管方式	

(6) 機械設備計画概要

	新体育館	備考
1. 熱源方式	方式：ガスエンジンヒートポンプ 空冷ヒートポンプエアコン	
2. 空調設備	方式：個別空調方式 ※アリーナ：一般空調方式（壁吹出）	
3. 換気設備	全熱交換型換気扇による第1種換気：事務室、会議室等 排風機による第3種換気：アリーナ、トイレ、器具庫等	
4. 自動制御設備	空調機運転制御、設備機器の警報表示	
5. 機械排煙設備	なし（自然排煙方式）	
6. 給水設備	系統：飲用系統、雑用系統（雨水利用）の2系統 方式：受水槽＋加圧給水ポンプ 受水槽有効容量：飲料用受水槽 30㎡、雑用受水槽 95㎡	
7. 給湯設備	方式：局所給湯方式（電気温水器） ガスマルチ給湯器（シャワー系統）	
8. 排水設備	方式：汚水・雑排水の合流方式 地下式緊急用汚水槽：有効容量 210㎡	
9. 衛生器具設備	節水型器具、自動水栓	
10. 消火設備	消火器、スプリンクラー（補助散水栓）	
11. 飲料水兼用耐震性貯水槽	水槽容量：40㎡	

※上記仕様・数値は、基本設計段階のものであり、今後の変更や協議により変動いたします。



(1) 建物配置

- ・既存体育会館を使用しながらの建設となり、既存体育会館と市営グラウンド間の市民プール解体跡地に建設となります。メインアリーナを東側、サブアリーナを西側に配置し、南側にスポーツラウンジ（エントランスホール）を設けた、計画地を最大限に利用したコンパクトな配置計画となります。
- ・両アリーナを並べることで、南側主要道路からメインアリーナ、サブアリーナの位置がわかる、明確な配置計画となっています。
- ・敷地の南・東側は、既存の石垣と植栽のデザインを踏襲し、西側は新たに植栽帯とメッシュフェンスによって、近隣との緩やかな緩衝帯となるように計画します。

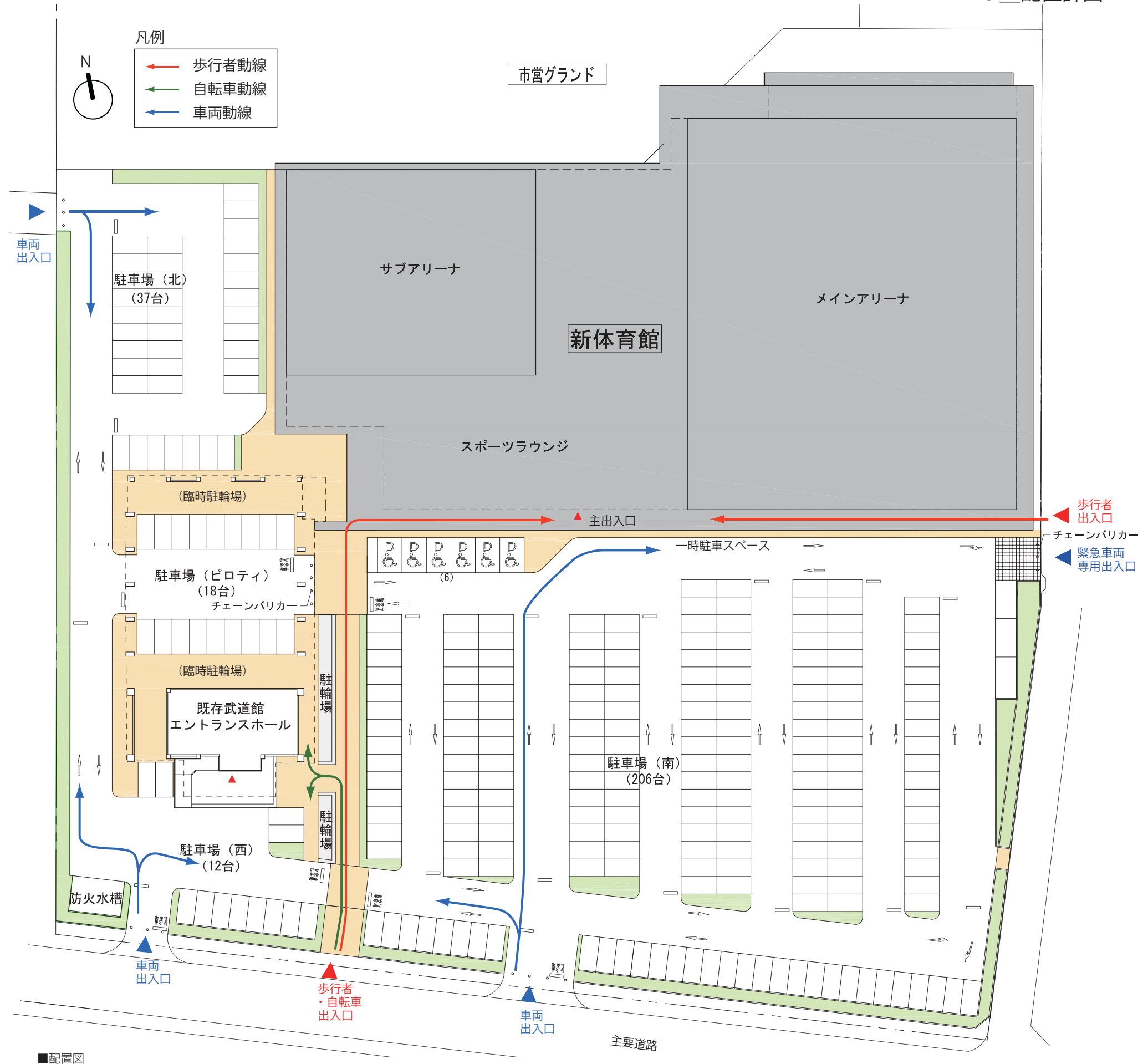
(2) 駐車場配置

- ・既存体育会館解体後に、新体育館の南側に駐車場を整備する計画となります。敷地内において、可能な限りの駐車スペースとして273台を確保した計画です。（現在131台）
- ・大型バスの乗降や荷物の積み下ろしができる、一時停車スペースをメインアリーナ南側に確保します。また、大会時には駐車場（北）をバス専用駐車場とします。
- ・車いす利用者等の専用駐車場は、乗降がしやすい主出入口に近い位置に6台分を確保します。
- ・自転車等利用者のため、駐輪場（約100台）は主たる歩行者動線に沿って設けることで、スムーズな出入りが可能となります。学校等の大会時には、100台以上の駐輪が想定されるため、武道館1階ピロティ部分、もしくは一般駐車場を臨時駐輪場として開放します。

敷地内駐車台数	
駐車場（北）	37台
駐車場（西）	12台
駐車場（南）	206台
駐車場（ピロティ）	18台
合計	273台

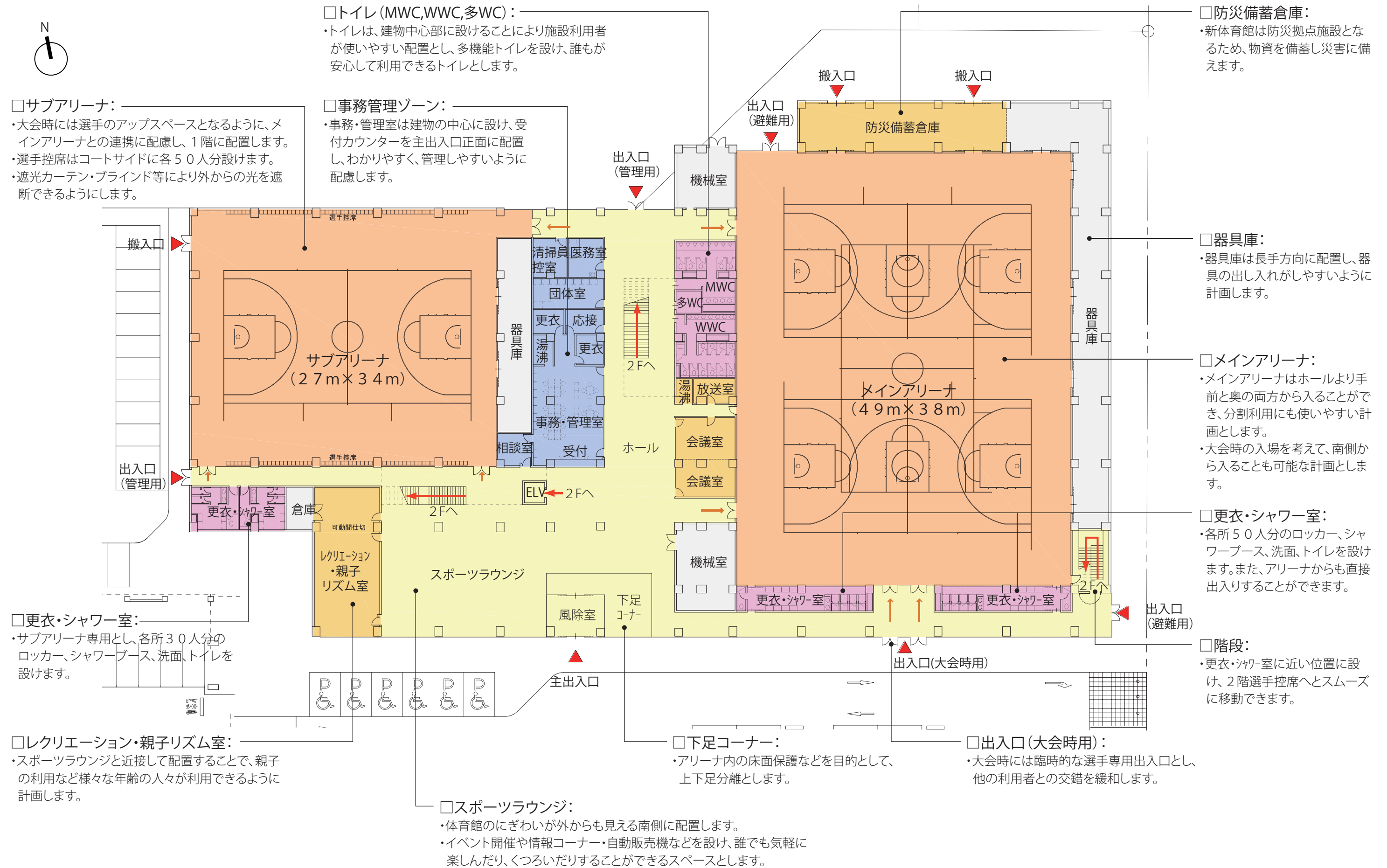
(3) 動線計画

- ・歩行者出入口と車両出入口を分け、敷地内の車道と交わる部分においては舗装などを変えることにより、歩行者優先となるように計画します。また、混雑時には適切な誘導を行うことにより、安全に配慮します。
- ・駐車場へのアクセスは、南側出入口からとし、周辺環境に配慮します。



■配置図

(1) 平面計画 (1階)





運動公園新中央体育館建設事業 基本設計書

平成 25 年 3 月

 **ISHIMOTO**  
ISHIMOTO ARCHITECTURAL & ENGINEERING FIRM, INC.  
株式会社 石本建築事務所

(出所：茨城県日立市市HPより) 本市抜粋)

## 基本設計書 目次

1-	設計方針	.....	1
2-	計画概要	.....	1
	・敷地概要		
	・建物概要		
3-	建築計画	.....	2
	(1) 配置計画	.....	2
	(2) 平面計画	<1 F 平面計画>	3
		<2 F 平面計画>	4
	(3) 各部計画	<上下足の考え方>	5
	(4) 立面計画	.....	6
	(5) 断面計画	.....	7
	(6) ユニバーサルデザイン計画	.....	8
	(7) 環境計画	.....	9
	(8) 仕上計画	.....	10
4-	構造計画	.....	11~
5-	電気設備計画	.....	16~
6-	機械設備計画	.....	20~
7-	昇降機設備計画	.....	24
8-	外構計画	.....	25

## 1. 設計方針

「日立市新体育館建設整備基本計画」に基づき、広く市民に親しまれる体育館を整備するため、以下の設計方針に沿って設計を進めてまいります。

### 1. 日立市の新たなシンボルとなる体育館

東日本大震災からの復興を担う施設として、日立市の未来への飛翔を象徴するシンボルとなる体育館づくりを目指します。

おおらかな屋根の形状が、日立市の自然やスポーツの躍動感を象徴します。

### 2. さまざまなスポーツ活動、文化イベントを支える体育館

市民のスポーツ活動から、大会、イベントまで様々な活動を支えるスポーツ、交流施設として整備します。

多様な利用に柔軟に対応できる機能性・利便性・安全性を確保します。

### 3. 災害に強い安全で安心な体育館

災害時に避難所として機能するよう十分な耐震性能を確保したうえで、自家発電設備、備蓄倉庫、WC など避難所としての機能を有する施設とします。

### 4. 人にやさしい体育館

スポーツラウンジを中心に各競技場・WC・更衣室などを集約したコンパクトで使いやすい体育館とします。

また、誰もが安心して利用できるようユニバーサルデザインの考えに基づき、多目的WC・授乳室・キッズルームなどを使いやすい場所に整備します。

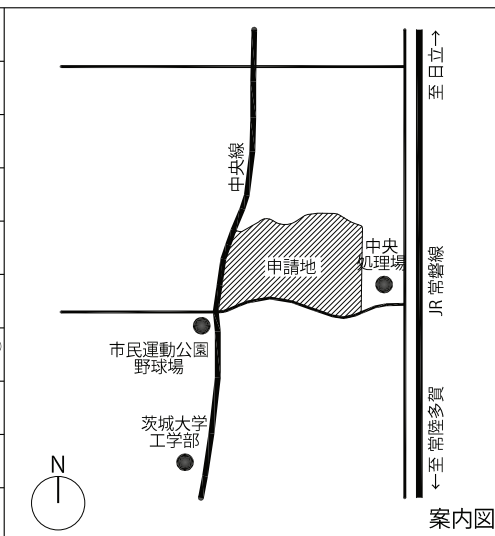
### 5. 環境にやさしい体育館

自然エネルギーの有効活用と省エネルギー設備の採用により、ランニングコストを低減でき、長く使い続けられる体育館とします。

## 2. 建築概要

### ■敷地概要

建設地	茨城県日立市東成沢町2丁目258番地
敷地面積	61,958.28 m <sup>2</sup>
法定建ぺい率	60 %
法定容積率	200 %
周辺道路	西側 11m / 北側 6m / 南側 8m
用途地域	第一種中高層住居専用地域 第一種住居地域
日影規制	測定面 4.0m 4時間 / 2.5時間 (第一種中高層住居専用地域) 5時間 / 3時間 (第一種住居地域)
防火地域	指定なし
その他地域	市街化区域 法第22条区域 都市公園



### ■建築概要

主要用途	体育館
構造	鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨鉄筋コンクリート造 及び 一部 鉄骨造
規模・高さ	地上2階建 最高高さ 23.75 m
建築面積 (体育館)	6,698.59 m <sup>2</sup>
延床面積 (体育館)	1階: 6,148.72 m <sup>2</sup> 2階: 2,435.59 m <sup>2</sup> 計: 8,584.31 m <sup>2</sup>
付属建築物	駐輪場 (100台) 80 m <sup>2</sup> 外部 WC 32 m <sup>2</sup> 乗降場屋根 196 m <sup>2</sup>
駐車場	利用者用 250台 (常設 170台、臨時 80台) うち車いす用 4台 関係者用 35台

### ■主要室概要

メインアリーナ	2,065 m <sup>2</sup> (59m×35m) バスケットボールコート × 3面 バレーボールコート × 3面 バドミントンコート × 12面 移動観覧席 : 約 1150席
観覧席	1,500 m <sup>2</sup> 固定観覧席 : 約 1460席
サブアリーナ	725 m <sup>2</sup> バスケットボールコート × 1面 バレーボールコート × 1面 バドミントンコート × 3面
武道場 (多目的室)	約 430 m <sup>2</sup> 柔道場 × 2面 剣道場 × 2面
弓道場	130 m <sup>2</sup> 6人立
トレーニング室	160 m <sup>2</sup>
スポーツラウンジ	350 m <sup>2</sup> 自販機スペース 掲示スペース
会議室	160 m <sup>2</sup> (54人レイアウト) 50 m <sup>2</sup> (24人レイアウト)



### 3. 建築計画

#### (1) 配置計画

##### 運動公園内の大切な通り・樹木の保存・景勝に配慮した配置計画

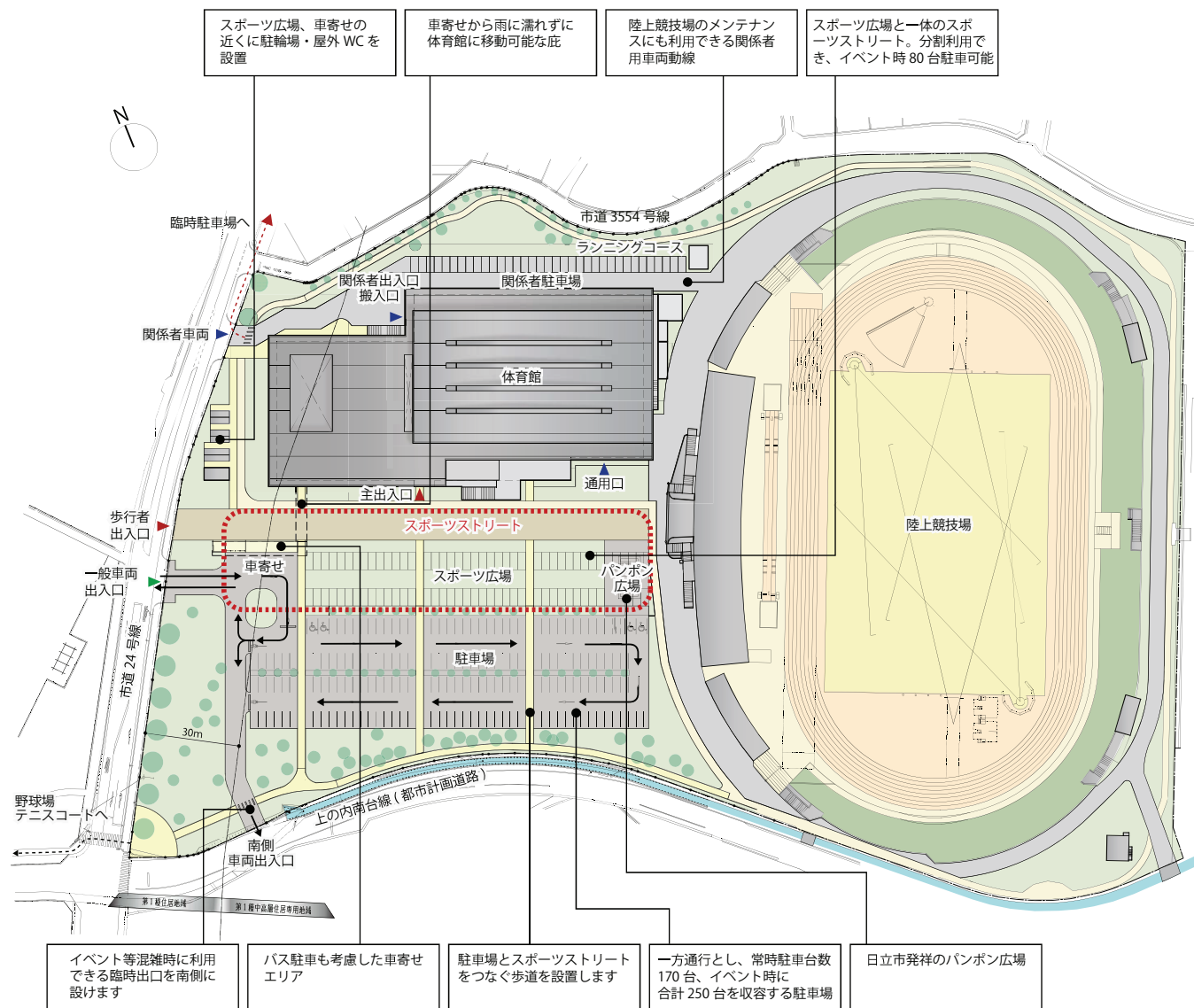
- ・市道24号線から陸上競技場に延びるメイン通りを敷地全体の中心軸として継承し、スポーツストリートとして整備します。
- ・敷地外周部を中心に既存の樹木はできるだけ保存します。

##### スポーツストリートを中心とした市民の活動を支える施設配置

- ・市道24号線から陸上競技場に延びるスポーツストリートを中心に体育館、スポーツ広場を配置し、市民の様々な活動スペースを集約し整備します。
- ・スポーツストリートに面して東西に長いスポーツ広場を整備します。パンポンなどのスポーツ活動や子供たちの遊び場となります。

##### 歩車分離に配慮した駐車場及び歩道配置

- ・市民が使う体育館、スポーツストリート、スポーツ広場を中央に集約し、その外側に駐車場を設けることで歩車分離を図ります。
- ・ランニングコースについてもできるだけ車路と交差しないように、南側駐車場を避けるルートで再整備します。
- ・駐車場は南側を一般用、北側を関係者用とし、利用別に設けます。



3. 建築計画  
(2) 平面計画

1階

利用者が集うスポーツラウンジを中心とした施設配置

- ・スポーツストリートに面してエントランスホールと一体となったスポーツラウンジを設けます。2層吹き抜けの明るく開放的な利用者の交流スペースとして整備します。
- ・スポーツラウンジに面して各競技場を配置し、出入口もスポーツラウンジに向けて設置することで利用者にとってわかりやすい施設構成とします。

様々なスポーツ大会、イベントに対応できるメインアリーナ

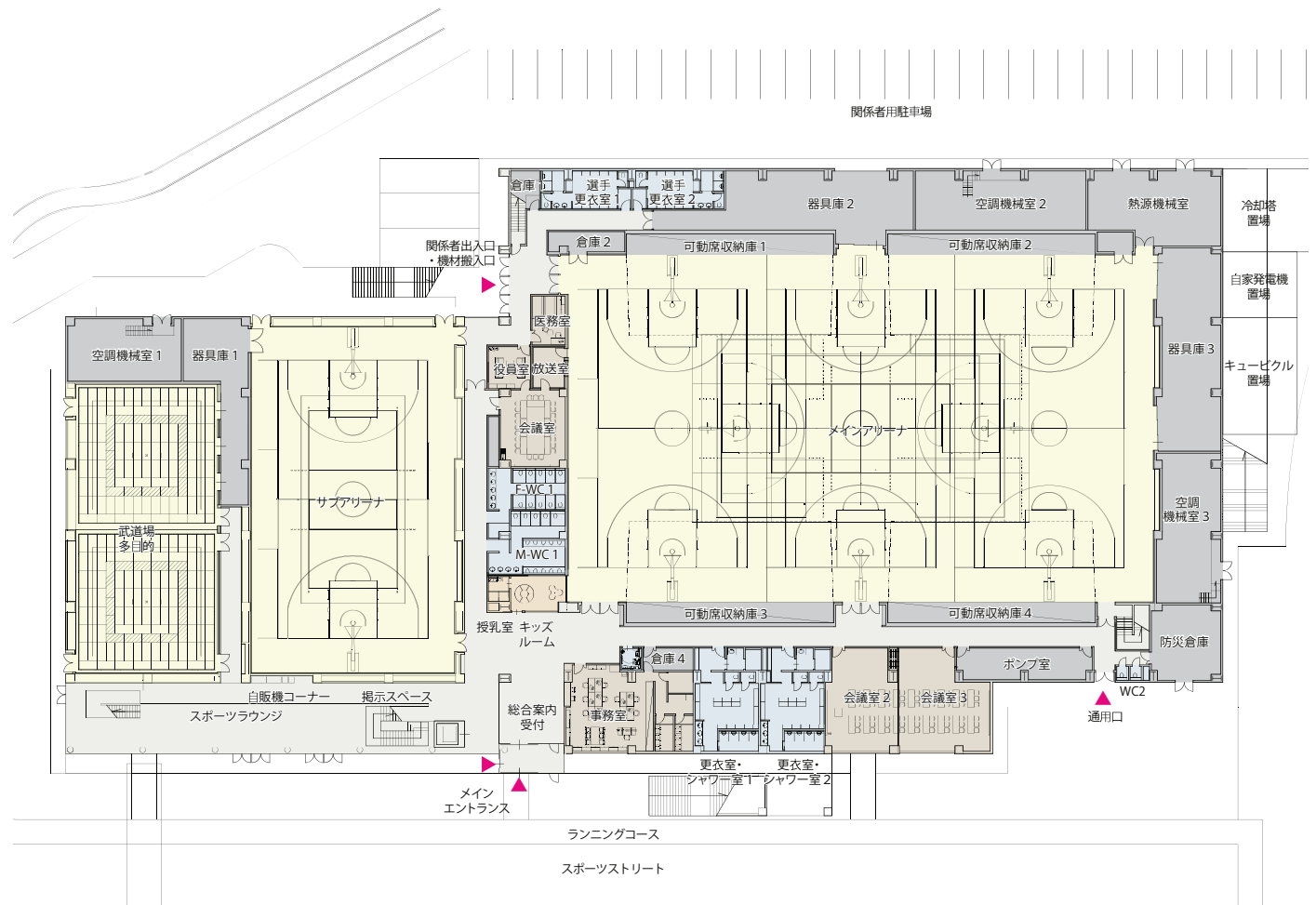
- ・バスケットボールコート3面配置できる広さを持ち、1階可動観覧席と2階固定席で約2,600席を確保します。
- ・様々なイベントでの利用を考慮し、吊物などのためのバトン天井を設置します。
- ・大会時の利用に対応できる放送席、役員室、選手用更衣室を設置します。

地域スポーツ活動を支えるサブアリーナ・武道場

- ・サブアリーナはバスケットボールコート1面分の広さを確保します。
- ・武道場は柔道場、または剣道場として2面分の広さを確保します。2面を別々に利用できるよう可動間仕切を設けます。

管理しやすさに配慮した事務室

- ・事務室はスポーツラウンジ、スポーツストリートが見通せる位置に配置します。事務室に付属する更衣室・給湯・倉庫などを隣接して設置します。





### 3. 建築計画

#### (2) 平面計画

2階

#### ランニングコースを設置したメインアリーナ2階

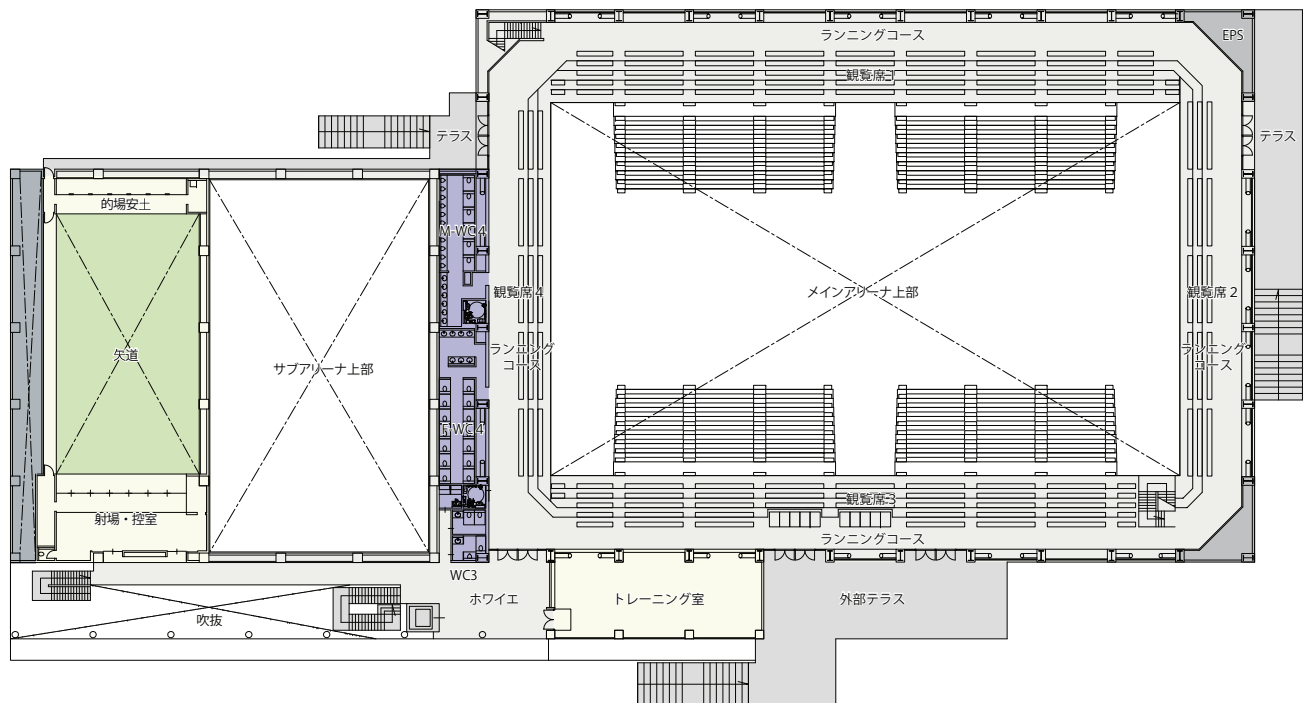
- ・2階観客席外周部にランニングコースを設けます。
- ・2階にはメインアリーナ専用のWCを設けます。
- ・外部階段を経由して直接メインアリーナにアクセスできる外部テラスを設けます。大会・イベント時の出入口として活用できます。

#### 地域スポーツ活動を支える弓道場・トレーニング室

- ・弓道場は近的6人立が可能な広さを確保します。
- ・トレーニング室はマシントレーニングなどが可能です。

#### 災害時の安全な避難に配慮した計画

- ・メインアリーナ・弓道場・トレーニング室は災害時に直接外部に逃げる事が可能です。3カ所に設けた外部階段を利用して避難できる計画とします。



3. 建築計画  
 (3) 各部計画 -2

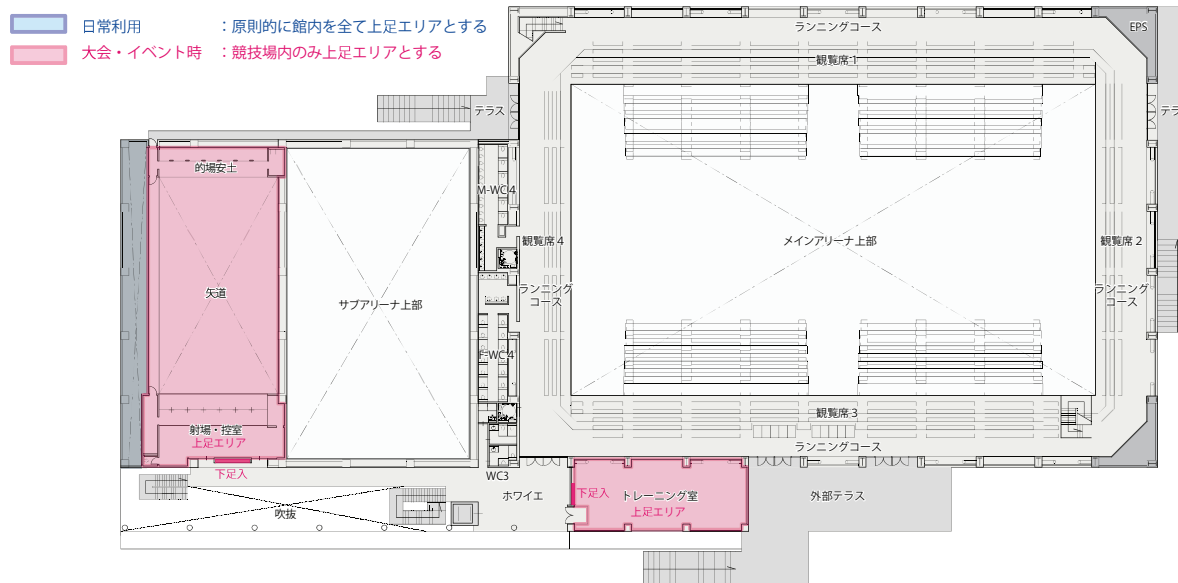
上下足の考え方

■ 日常時の使い方

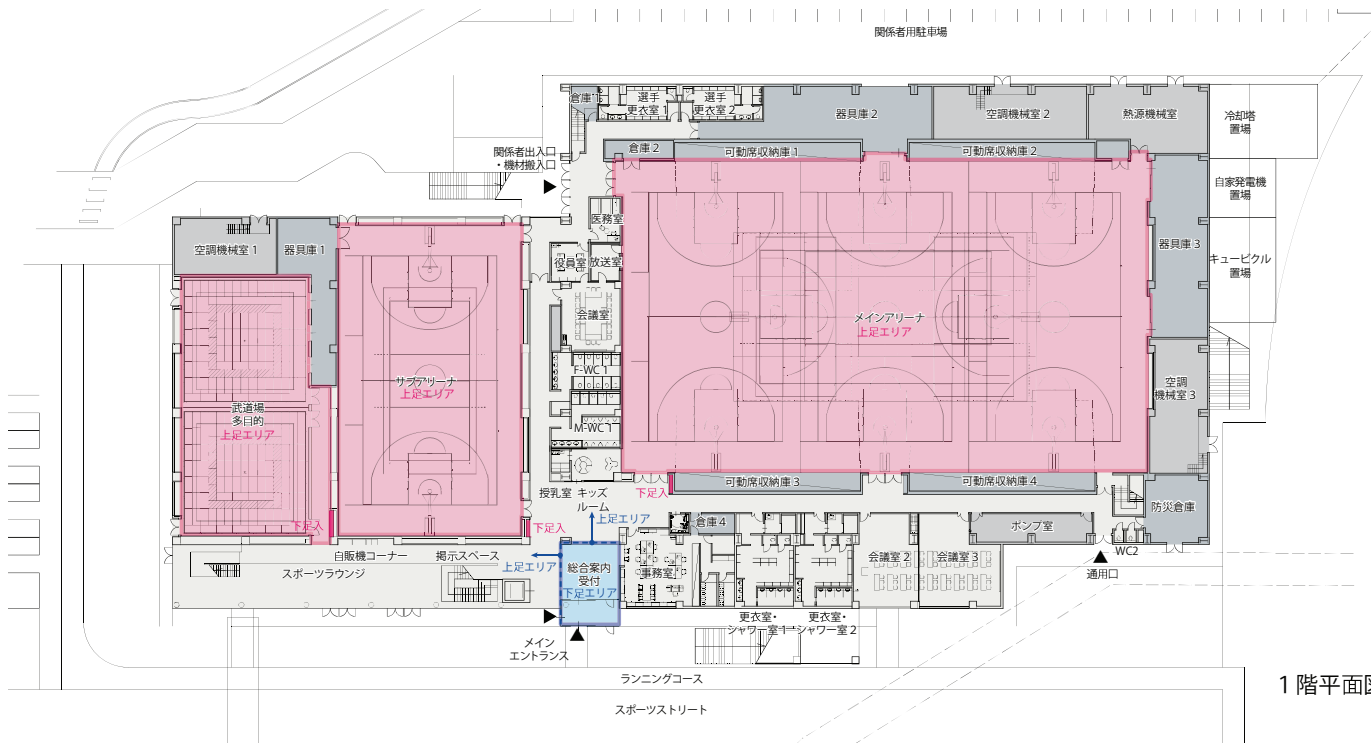
- ・ 利用者は、1階スポーツラウンジ受付部分で下足から上足に履き替え、施設内は全て上足での利用になります。
- ・ 下足は更衣室内ロッカーに収容します。

■ 大会・イベント時の使い方

- ・ 観客・利用者とも、施設内は競技場を除き下足での利用が可能になります。
- ・ 但し、競技場内は上足での利用となるため、競技場に入る所で上足に履き替えます。
- ・ 各競技場出入口脇には下足入れを設置します。



2階平面図



1階平面図

## むつ市新体育館 基本設計【概要版】

---

### 目次

1	設計主旨	1 ページ
2	計画概要	2 ページ
3	配置計画	3 ページ
4	建築計画	4, 5 ページ
5	災害時のゾーニング計画	6 ページ
6	立断面計画	7 ページ
7	内装計画	8 ページ
8	外構計画	9 ページ
9	概算事業費及び整備スケジュール	10 ページ

(出所：青森県むつ市HPより 本市抜粋)

## 1 設計主旨

### 1-1 基本方針

- (1) スポーツ推進拠点として、「する」「観る」「支える」スポーツを実現できる施設づくり
- (2) 地域・文化交流拠点として、全ての市民が利用しやすく親しみの持てる施設づくり
- (3) にぎわいの拠点として、周辺施設との積極的連携を図り多目的に利用できる施設づくり
- (4) 大規模災害時の災害復旧拠点として、防災機能を有する施設づくり
- (5) 周辺景観と調和したシンボルとなる景観づくり
- (6) 自然エネルギーの利用に配慮し、維持管理のしやすい施設づくり

### 1-2 設計主旨

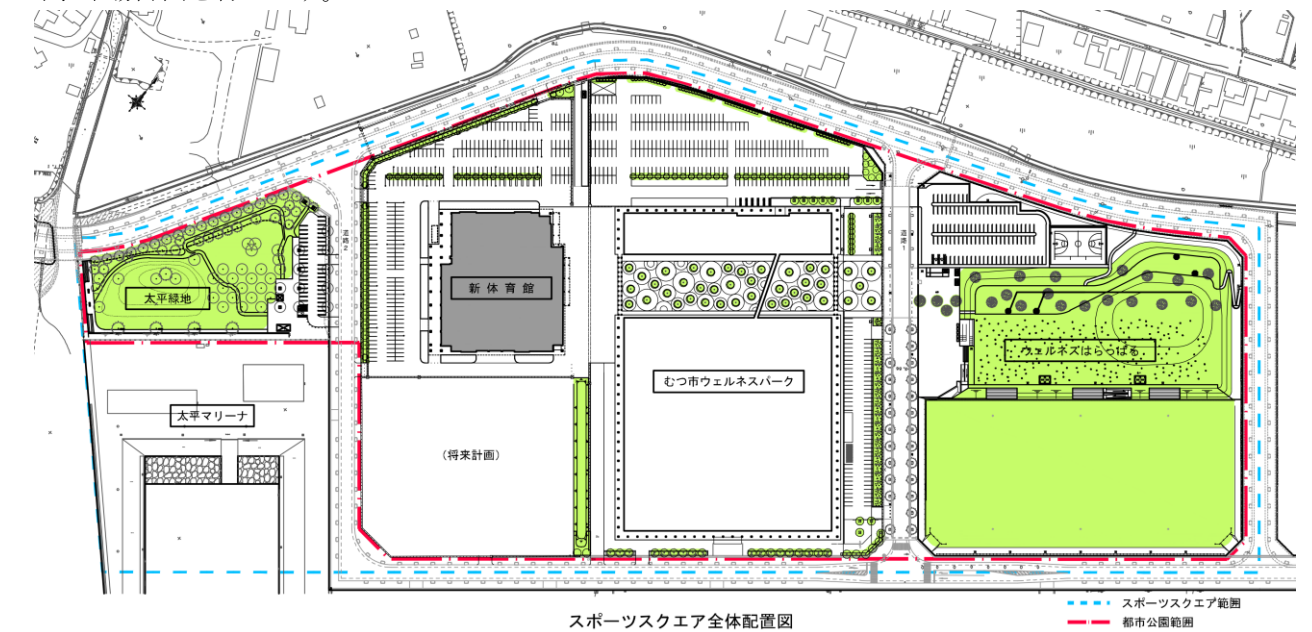
以下の項目に配慮した設計を行います。

- (1) 並列配置で一体利用も可能な「開放的な」アリーナ
- (2) 大会やプロスポーツにも対応できる「高機能」体育館
- (3) 開放的で多様な使い方に対応した「多目的な」共用空間
- (4) 子どもから高齢者、障がい者も利用しやすい「人にやさしい」施設
- (5) 環境に配慮しライフサイクルコストの低減に取り組む「エコロジーな」施設
- (6) 災害時の救援物資集積所、救護施設機能に配慮した「災害に強い」施設
- (7) 周辺環境と調和した「まちづくりに寄与する」施設

### 1-3 都市公園としてのスポーツスクエア

建設地は都市計画マスタープランにおいて、観光・交流レクリエーションエリアに指定されており、周辺エリアは都市公園（おおみなと臨海公園）となっています。

ウェルネスパーク（屋内運動施設）や、ウェルネスはらっばる（防災緑地）、大平マリーナ、大平緑地といった既存施設との連携と機能分担により、スポーツをするためだけでなく、余暇を過ごす市民の憩いの空間となるよう、自由に利用できる共用空間や屋外空間の充実や、将来の拡張性にも配慮した建物配置計画や駐車場計画を行います。



スポーツスクエア全体配置図

スポーツスクエア範囲  
都市公園範囲



北東外観イメージ

※外観イメージ図は実施設計作業において変更となる場合があります。

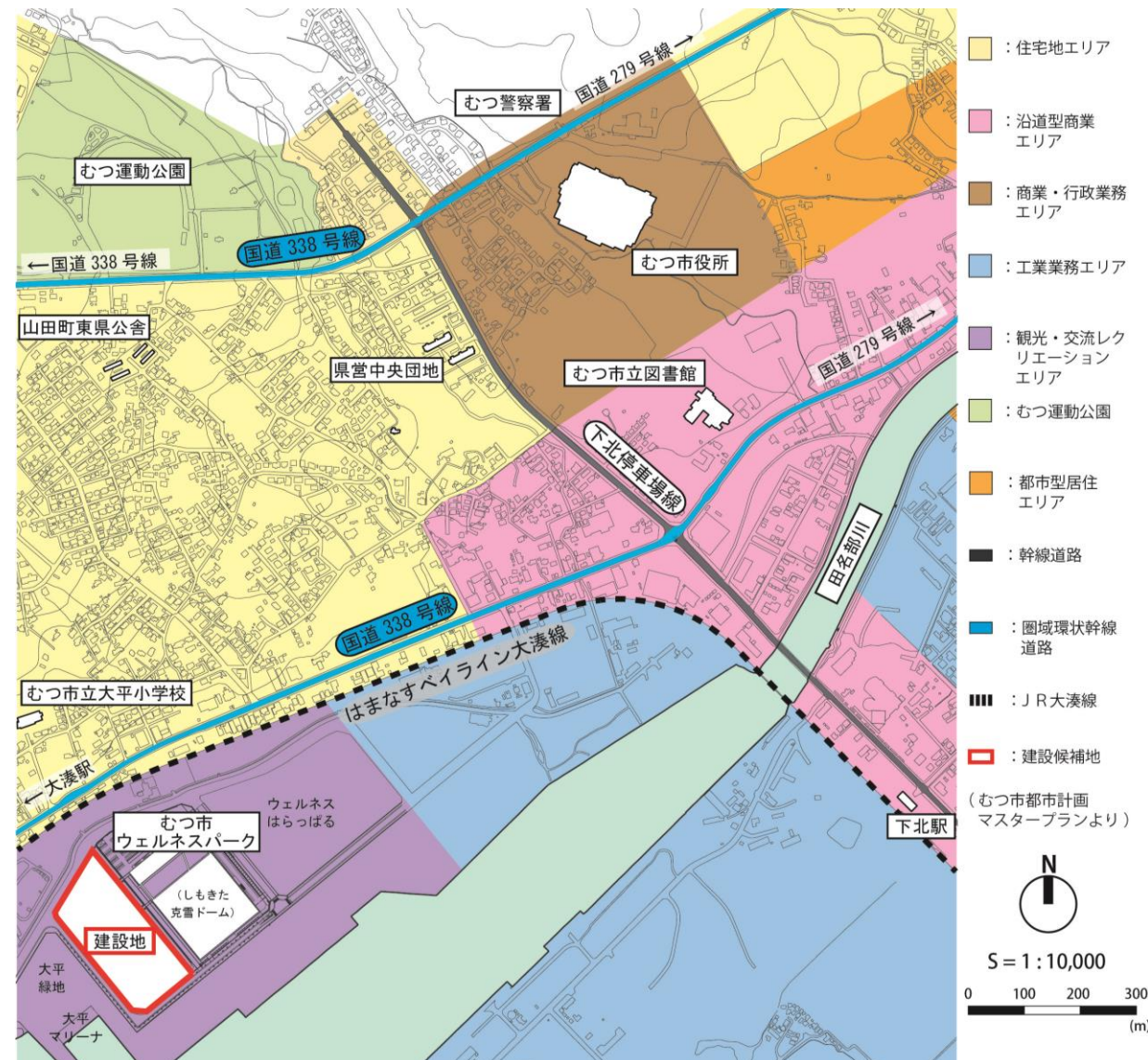


## 2 計画概要

### 2-1 敷地概要

地名	青森県むつ市真砂町93番27
敷地面積	32,539.31㎡
法定建ぺい率	60% (むつ市都市公園条例により上限22%)
法定容積率	200%
都市計画区域等	都市計画区域内、区域区分非設定
用途地域	準工業地域
防火地域	指定なし
その他地域地区	臨港地区
その他関係法令	青森県景観条例
日影規制	なし (青森県建築基準法施行条例13条)
開発許可	不要 (都市計画法第29条1項3号)
斜線制限	道路斜線制限：適用距離20m、勾配1.5 隣地斜線制限：立ち上り31m、勾配2.5
前面道路	南、西、北面：臨港道路 幅員：20.0m (建築基準法第43条第1項ただし書による。)

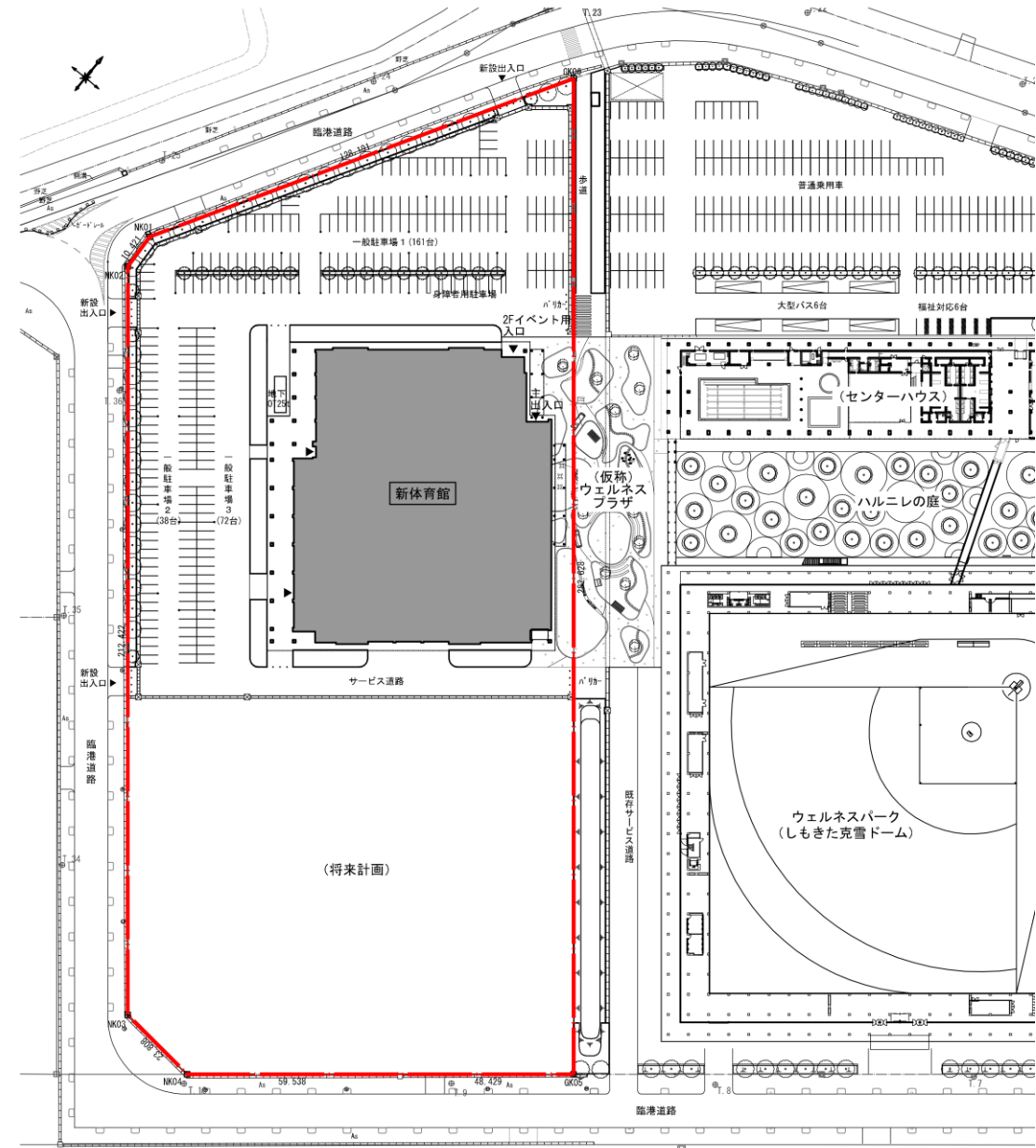
### 2-2 案内図



### 2-3 建物概要・棟別面積集計表

施設用途	体育館 (運動施設 (都市公園施設))	
工事種別	新築	
建築面積	6,673.74㎡ (本体：6,541.44㎡、庇：132.30㎡)	
建ぺい率	敷地内：20.50% (都市公園：138,000.00㎡、全体建蔽率：20.63%)	
延べ面積	7,906.82㎡ (本体 7,578.96㎡、室外機置場等 327.86㎡)	
	1階	5,583.88㎡ (本体：5,525.98、屋外部分：57.90㎡)
	2階	2,322.94㎡ (本体：2,052.98㎡、室外機置場：269.96㎡)
容積率	24.29%	
駐車場	一般駐車場	271台
	障がい者用駐車場	6台
	大型バス用駐車場	一般駐車場と兼用

### 配置図



### 3 配置計画

#### 3-1 敷地利用計画

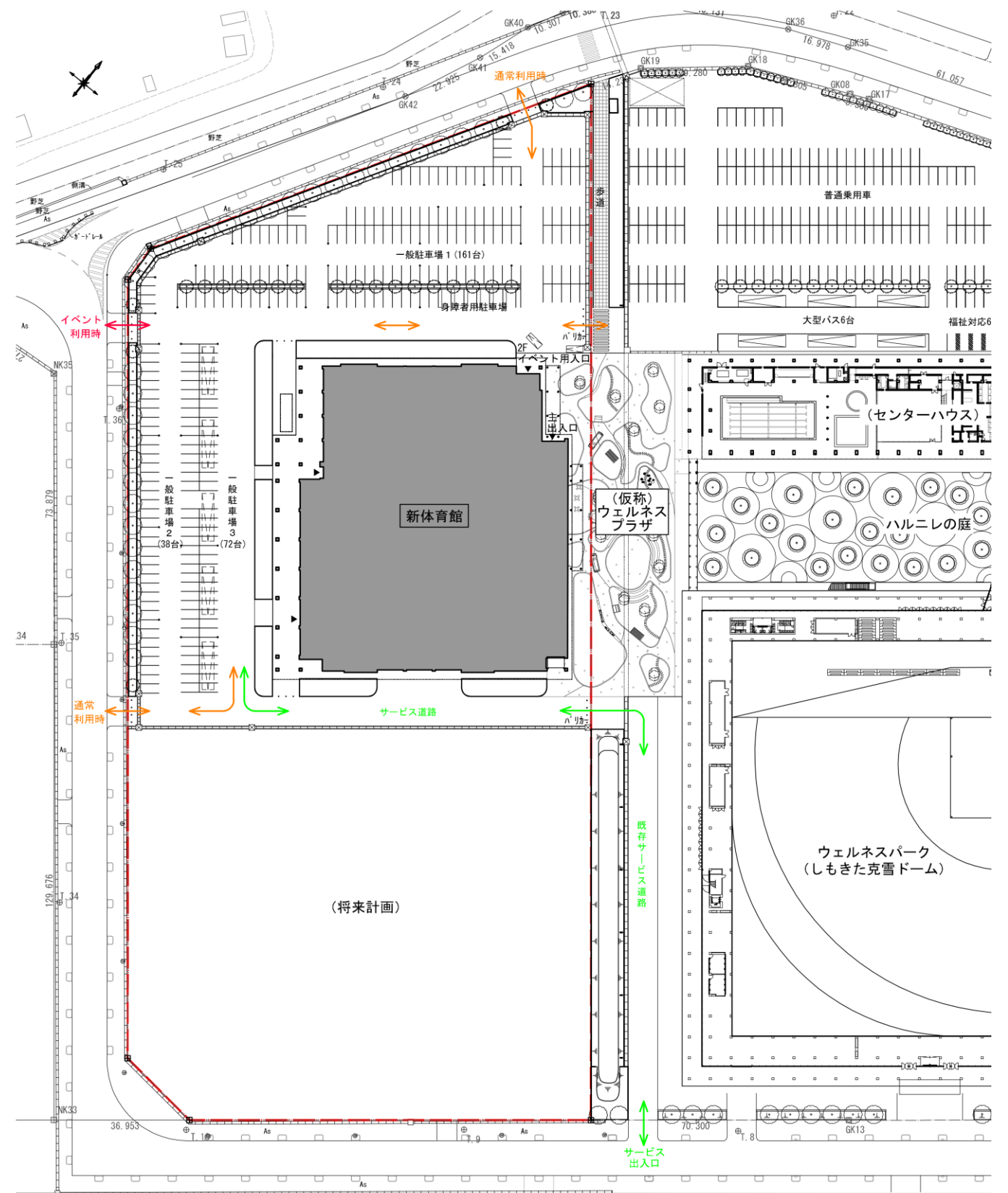
南北に長い用地のうち、北側半分を建設敷地として利用し、南側は将来計画とします。既存のウェルネスパークと一体的に利用しやすく、将来的な敷地利用に配慮し、北側と西側に利用者用駐車場、中央部に体育館、東側のウェルネスパークとの間には、市民が自由に利用できる広場を計画します。

#### 3-2 敷地内動線計画

- 【利用者動線】一般車両の出入りは、敷地西側と北側とし、西・北側駐車場の利用を想定しています。また、既存ウェルネスパークの駐車場と往来できる車路を連続させ、利用者の利便性を高めます。
- 【サービス動線】建物南側にサービス通路を配置し、既存サービス通路と接続して、効率的に敷地を利用します。
- 【イベント時動線】プロスポーツ等のイベントの際は、「観覧者」「チーム関係者」「運営関係者」「メディア」の4つの車両出入口と駐車場を区分し、動線が交錯しない計画とします。(A-9参照) ※北西角出入口は、イベント時に誘導員を立てて使用します。
- 【災害時動線】災害時は、メインアリーナ(救援物資二次集積所)への搬入出トラックと、スタッフの動線、サブアリーナ(救護所)への救護者動線を区分し、動線が交錯しない計画とします(A-10参照)。

#### 3-3 駐車場利用計画

「通常利用」「大会利用」「イベント利用」「災害時」の大きく4つの利用形態に合わせたゾーニングを行い、ウェルネスパークや周辺施設、仮設駐車場を利用し必要な台数を確保します(A-9参照)。



敷地内動線計画図

<凡例>	
<span style="color: orange;">—</span>	通常利用時
<span style="color: green;">—</span>	サービス利用時
<span style="color: red;">—</span>	イベント利用時
<span style="color: blue;">---</span>	堆雪帯



## 4 建築計画

### 4-1 平面計画

1階はメインアリーナとサブアリーナを並列配置し、一体的利用が可能な計画とします。最大でバスケットコート3面を同時使用した大型大会の開催も可能です。アリーナを中心に、既存ウェルネスパークに近い東側（図面右側）に市民が利用するエントランスホールや更衣室などの共用部分をまとめ、広場空間との連携性を向上させます。アリーナの西側（図面左側）には、機械室や器具庫などのバックヤード部門をまとめ、駐車場に面したメンテナンス性の高い計画とします。

2階は約1,000席の観覧席とそれを巡る約200m/週のランニングコースを配置します。

#### 【1階】

##### ■ エントランス廻り

市民が自由に利用できる広場に面した開放的な空間とし、自動販売機やラウンジ等を備えた憩いの空間として計画します（詳細はA-14参照）。

エントランスホール内に設けられたキッズコーナーや、おむつ替えのできる授乳室など、女性や小さな子ども連れでも安心して利用でき、子ども達も楽しめる空間づくりを行います。

##### ■ 事務室廻り

風除室に近く、来館者に分かりやすい位置に受付を設けます。事務系の関連諸室をまとめて配置することで、効率的で運用のしやすい計画とします。

##### ■ 更衣室

男女別にそれぞれロッカーとシャワールームを整備し、アリーナの近くに配置します。また、車いすの方に配慮した専用更衣室を計画します。

##### ■ パウダーコーナー

更衣室と女子トイレにはパウダーコーナーを設け、女性に配慮した施設づくりを行います。

##### ■ 多目的室

会議や研修等に利用でき、可動間仕切りでフレキシブルに利用できる計画とします。アリーナに面して窓を設け、アリーナの様子が見えるようにします。

##### ■ マルチエリア

メインアリーナとサブアリーナをつなぐガラス張りの多目的スペースとして、通常は、利用者の休憩や家族の観覧、チームのミーティングなど多目的に利用します。大会時には、大会役員の関係室としての利用を想定します。アリーナに面するガラス面は開閉できるよう検討します。

##### ■ トレーニング室

1階南側の日当たりの良い位置に配置します。メインアリーナとも隣接し、利便性を向上させます。

##### ■ ボルダリング室

トレーニング室に併設し、広場に面した位置に配置します。広場からも中の様子が伺え、利用者の興味を促し、新たなスポーツ人口の拡大に寄与します。

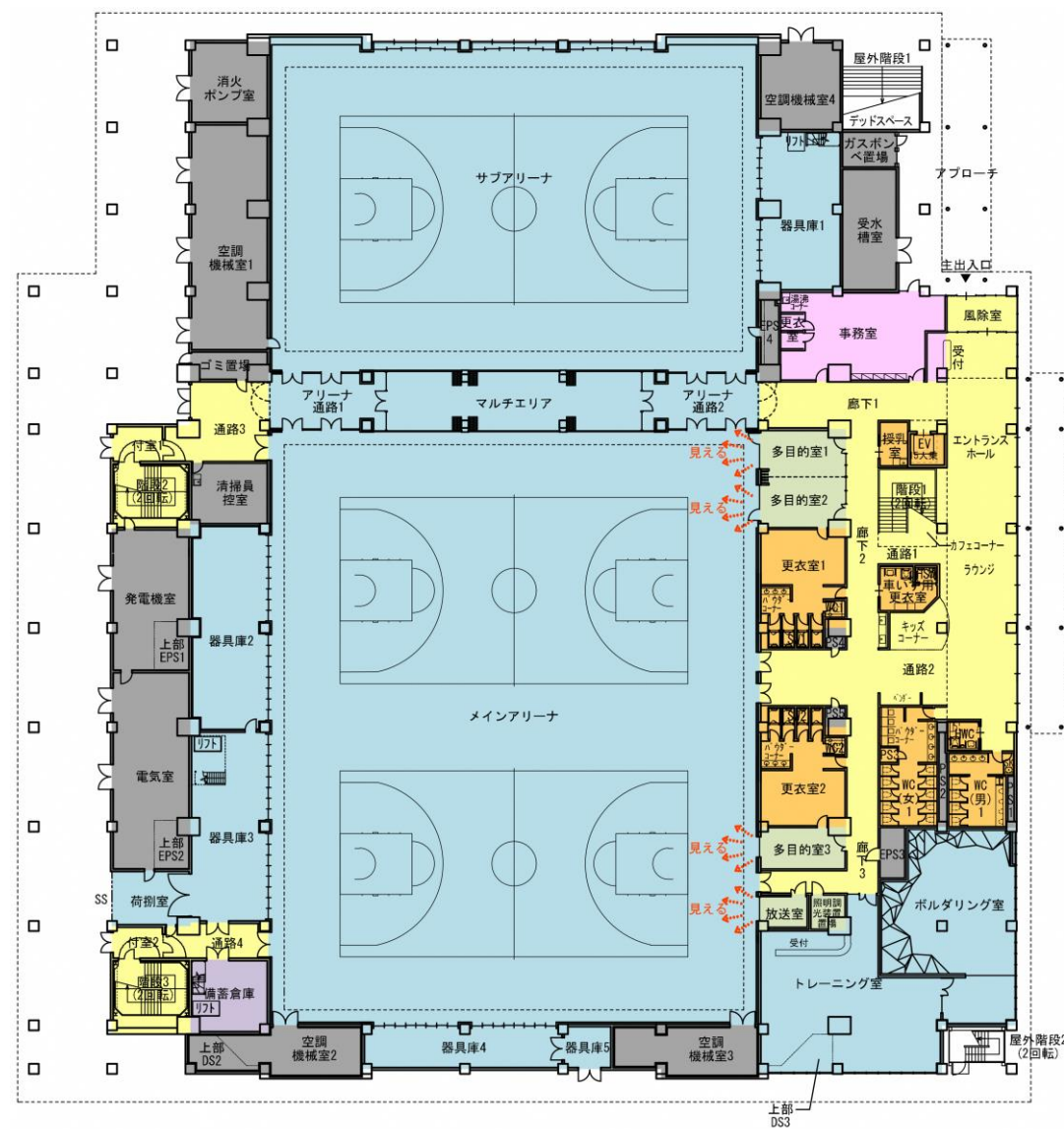
##### ■ 器具庫

メインアリーナに約190㎡、サブアリーナに約80㎡の器具庫を設けます。アリーナに面して大きく開口の取れる配置として、器具の出し入れをしやすい計画とします。階高を利用した2層型として効率化を図ります。

##### ■ 機械室等

機械室は西側駐車場から直接出入りができ、日常のメンテナンスや機器更新に対応しやすい計画とします。運転音の大きい空調機械室はサブアリーナ側に、熱源機械室は2階へ配置しイベント時の騒音に配慮します。

※メインアリーナ、サブアリーナはA-6にて、トイレはA-7にて説明します。



1階平面図



【2階】

■大階段（屋外階段1）とイベント用入口

大会やイベント時のみの利用を想定した幅約6mの大階段と専用の出入口を設けます。2階の観覧席に向かうたくさんの来場者に対応し、利用者の安全性と運営のしやすさを確保します。

■観覧席、ランニングコース

観覧席は、「興行場等に係る技術指針（国土交通省）」および、「下北地域広域行政事務組合火災予防条例」に準拠した計画とします（詳細はA-11参照）。

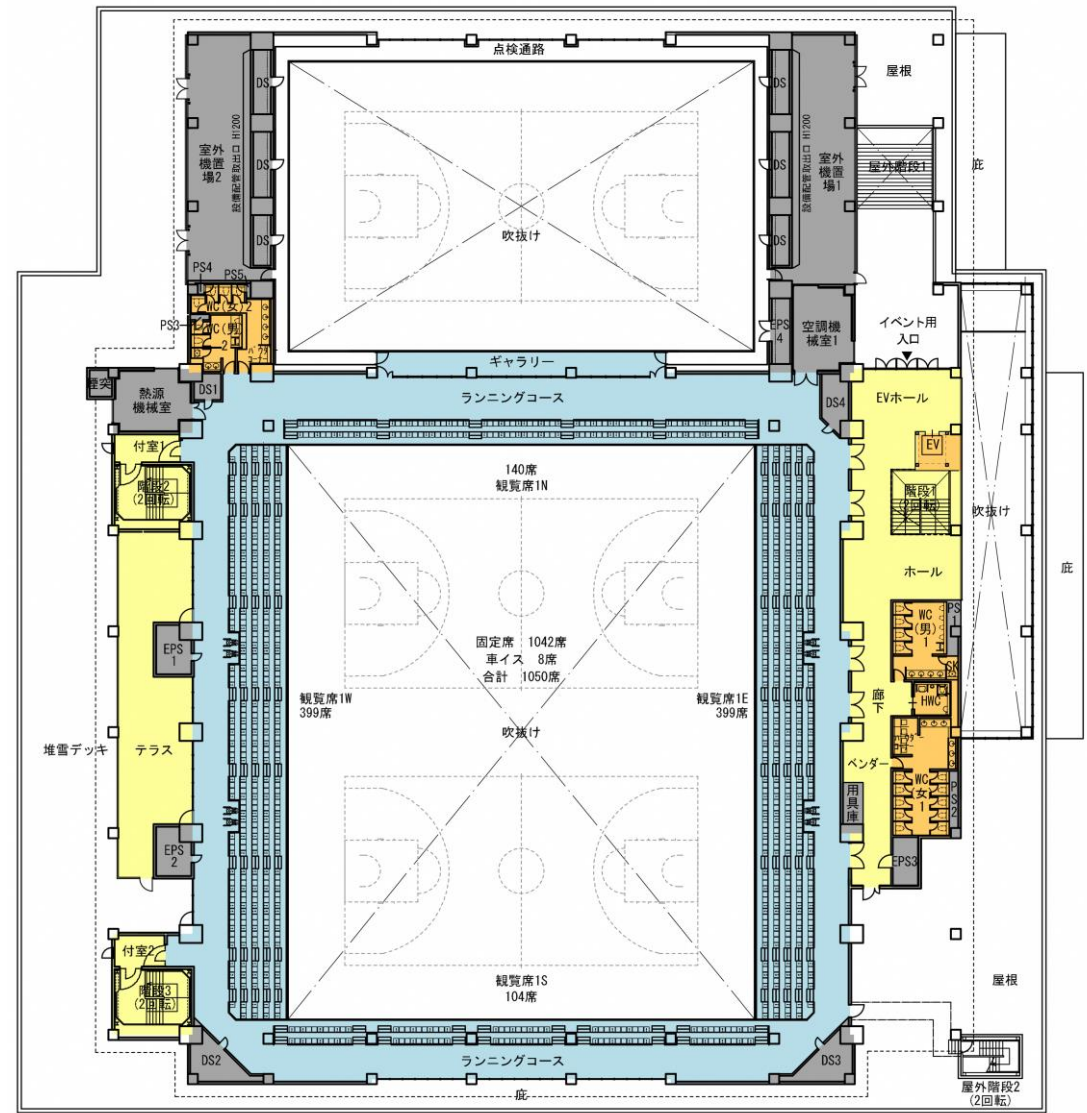
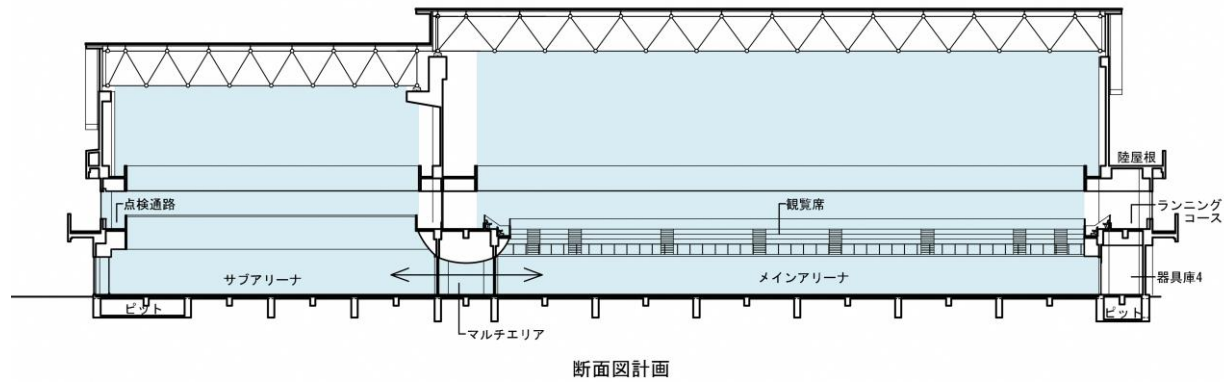
ランニングコースは、巾約2m、約200m/周とし、観覧席の横通路と兼用して有効利用します。

南面と西面には窓を配置し、外の景色を楽しみながらランニングできる計画とします。

サブアリーナには、メンテナンス用の幅1mの点検通路を巡らせ、維持管理のしやすい計画とします。

4-2 続き間アリーナ

2つのアリーナを並列配置し、マルチエリアに面した建具を開閉することで、一体的な利用やメインとサブで別々な大会を開催するなど、フレキシブルな運用を可能にする「続き間アリーナ」とします。「続き間アリーナ」は、最大で巾39m、奥行き78mの一体空間となり、各種イベント利用も想定した計画とします。



2階平面図

- <凡 例>
- アリーナ部門
  - 管理部門管理諸室
  - 管理部門供給
  - 管理部門防災関連
  - 共用部門通路等
  - 共用部門サービス
  - 共用部門会議・研修

続き間アリーナの利用例		← 選手動線を示す	
利用形態	一体利用（建具：開）	個別利用（建具：閉）	ウォームアップコート利用（建具：閉）
利用例	<p>サブアリーナ</p> <p>アリーナ通路</p> <p>マルチエリア</p> <p>メインアリーナ</p> <p>大型大会やイベントを想定した利用形態</p>	<p>サブアリーナ</p> <p>アリーナ通路</p> <p>マルチエリア</p> <p>メインアリーナ</p> <p>2つの小規模大会を同時に行うことを想定</p>	<p>サブアリーナ</p> <p>アリーナ通路</p> <p>マルチエリア</p> <p>メインアリーナ</p> <p>決勝やプロスポーツ興行等で、アップコートとメインコートに分けた利用を想定</p>
	<p>(バスケット競技)</p>	<p>(バドミントン競技)</p> <p>(バスケット競技)</p>	<p>ウォームアップコート</p> <p>センターコート</p>



各候補地の評価の概要

場所	(現在地)飯塚第1・第2体育館敷	①健康の森公園内敷	②市民公園広場内敷	③筑豊ハイツ周辺敷	④B&G海洋センター内敷	⑤地方卸売市場敷	
住所	枝国666番地11 (横田375番地104)	吉北120-9付近	鯉田1560-4	仁保8-30	平恒54	菰田西3丁目6-1ほか	
全市的にみた位置	市中心部よりやや西側に位置する	市中心部より北側に位置し、小竹町に隣接	市中心部よりやや北東側に位置する	市中心部より東側に位置し、糸田町に隣接	市中心部より南東側に位置し、嘉麻市に隣接	市中心部よりほぼ南側に位置する	
面積 ※航空写真を参考	17,820.92㎡	市所有の既造成地 約27,000㎡	旧陸上競技場跡地 約31,000㎡	ハイツ周辺市有敷地 約41,000㎡のうち ・周辺原野 約18,500㎡	総面積79,101㎡のうち 約25,000㎡(穂波グラウンド敷及び海洋センター敷)	約64,918㎡ ・青果市場 約28,200㎡	
都市計画法等のしほり	用途地域	第2種住居地域 (近隣商業地域)	無指定	第一種中高層 住居専用地域	無指定	第一種住居地域	準工業地域(特別用途地区)
	建築基準法第48条ただし書きの適用または、用途地域変更協議	制限なし	制限なし	・用途地域変更協議必要 ※建築基準法の制限緩和が可能(48条、用途変更不要)と思われる	制限なし	・用途地域変更協議必要	・大規模集客施設の立地に制限あり(ただし、延床面積10,000㎡を超える場合) ・特別用途(都市施設区域)の解除が必要
	容積率	200	200	200	200	200	200
	建ぺい率	60(80)	70	60	60	60	60
	その他	・開発行為の協議が必要	・開発行為の協議が必要	・都市公園(運動公園) ・都市計画道路 ・開発行為の協議が必要	・開発行為の協議が必要	・開発行為の協議が必要	・開発行為の協議が必要
防火・準防火規制 ※区域内にある建物が隣地の火事による延焼を免れるために、建物の屋根・外壁の防火性能をあげておく規制	建築基準法22条 (準防火地域)		建築基準法22条		建築基準法22条	建築基準法22条	
支障物件や敷地の状態等	・第1体育館、第2体育館の解体	なし	・観覧席 ・高圧線	・原野(現況山林)の造成整地 ・アクセス道路の整備 ・筑豊ハイツ	・海洋センター(体育館)	・青果棟などの建築物	
利便性	主要国道へのアクセス状況	・国道200号バイパスに面している。 ・国道201号勝盛歩道橋交差点まで約700m 【アクセス状況】 大型車、一般車ともに国道200号線から直接アクセス可能	・国道200号バイパス鯉田交差点まで約1,500m ・国道201号勝盛歩道橋交差点まで約3,800m 【アクセス状況】 大型車、一般車ともに国道30号線庄司交差点側から、国道200号線鯉田交差点側からのアクセスが可能	・国道200号バイパス鯉田まで約700m ・国道201号飯塚警察署前交差点まで約1,300m 【アクセス状況】 大型車は、国道200号線鯉田工業団地交差点から及び国道201号飯塚警察署前等から飯塚オートレース場前を通る道路のみアクセス可能。 一般車は、国道200号バイパス鯉田から浦田方面を通じて、また、国道201号飯塚警察署前等から飯塚オートレース場前を通るアクセス道路の2方面から可能	・国道200号バイパス鯉田まで約3,400m ・国道201号に面している。 【アクセス状況】 大型車、一般車ともに国道201号線から直接アクセス可能	・国道200号バイパス秋松交差点まで約2,300m ・国道201号バイパス堀池交差点まで約1,600m 【アクセス状況】 大型車、一般車ともに国道201号バイパス～国道473号及び60号を通じて、2方面からのアクセスが可能	・国道200号バイパス枝国北交差点まで約880m ・国道201号バイパス堀池交差点まで約930m 【アクセス状況】 大型車、一般車ともに国道211号山野団地入口交差点側から、国道201号バイパス堀池交差点側から南尾を通じたアクセス道路の2方面から可能
	JR駅(最寄駅)	・JR飯塚駅 直線約1.8Km ・JR新飯塚駅 直線約1.8Km	・JR鯉田駅 直線約2Km	・JR浦田駅 直線約0.5Km	・JR新飯塚駅 直線約4.7Km	・JR飯塚駅 直線約1.6Km	・JR飯塚駅 直線約0.6Km
	公共バス	・最寄バス停 東横田 直線約130m 行先数 13 1日本数 71本	・最寄バス停なし	・最寄バス停 篠田団地 直線約280m 行先数 6 1日本数29本	・最寄バス停 筑豊遊園 直線約500m 行先数 3 1日本数24本	・最寄バス停 飯塚工業団地 直線約166m 行先数 1 1日本数5本	・最寄バス停 昭通二丁目 直線約200m 行先数 13 1日本数142本
	駐車場	・駐車場が不足(約180台分) ・大型バス等の乗り入れ可能	・300台以上の駐車場整備可能 ・大型バス等の乗り入れ及び駐車場整備可能	・300台以上の駐車場整備可能 ・大型バス等の乗り入れ及び駐車場整備可能	・筑豊緑地で約900台分 ・大型バス等の乗り入れ及び駐車場利用可能	・駐車場が不足・約150台分 ・大型バス等の乗り入れ可能	・300台以上の駐車場整備可能 ・大型バス等の乗り入れ及び駐車場整備可能
	安全性	防災拠点としての立地 ・市の指定避難所	・市の広域避難地として指定 ・市の災害時における臨時ヘリポートとして指定	・市の広域避難地として指定	・県の土砂災害警戒区域に指定	・市の指定避難所 ・市の広域避難地として指定 ・市の災害時における臨時ヘリポートとして指定	指定状況なし
早期完成性	現建物の解体が必要。その間の代替え施設の調整に時間を要する。	できる限り工期短縮が可能	できる限り工期短縮が可能	大規模造成が必要となり工期が長期となりうる。	現B&G海洋センターのあり方について、B&G財団との交渉が必要であること、駐車場確保のため現施設の縮小等が必要となり、着手までに長期になる可能性がある。	市場の移転について、現在検討中であり、建設までに長期となる。	
財政面	財源未定	現在想定する主要財源である公共施設等管理推進事業債(平成33年度期限)が活用できる。	現在想定する主要財源である公共施設等管理推進事業債(平成33年度期限)が活用できる。	財源未定	財源未定	財源未定	
懸案事項	・駐車場不足 ・建替え期間中、体育館の利用ができない。 ・施設の老朽化 ・耐震性に課題(耐震診断をしていない、法違反のため県から命令を受けている) ・バリアフリーに対応した施設ではない	・公共交通機関が整備されていない。	・インフラ整備が必要 下水道管の敷設替え アクセス道路整備 ・関係者(利用者等)との協議が必要 ・オートレース開催時の渋滞緩和策などの対応が必要 ・高圧線が通っている。	・建物解体及び整地、原野(現況山林)を造成し、かつ、アクセス道路を整備する必要があり、造成費が必要となる。 ・土砂災害警戒区域に指定されており、その対策や、体育館建設のための造成にかなりの時間を要する。 ・県有地が大半	・敷地内の体育施設の再編整備が必要(体育館、プール、テニスコートの解体廃止など) ・関係者(地元・利用者等)との協議が必要 ・現B&G海洋センターのあり方について、B&G財団との交渉が必要であること、駐車場確保のため現施設の縮小等が必要となり、着手までに長期になる可能性が高い ・オンサイト機能を有しているため、それをつぶすことに対する懸念がある。	・市場管理事務所棟の建物解体が必要である。 ・建設するには、現市場事務所棟の解体が必要であり、市場の移転時期は現在検討中であり、移転後に解体、造成、体育館の建設となるため、相当な時間を要する。	